

財政学 A		講義	准教授 小松原 崇史	
科目カテゴリー	国際ビジネスコースの専門 選択科目, 会計ファイナン スコースの専門選択科目, 経営・経済コースの専門選 択科目, 教職科目	科目ナンバリング	23222205 25320219	

1. 授業のねらい・概要

主に日本の財政についての基礎的な内容を説明する。本科目の履修にあたっては、「経済学基礎」を履修済みであることが望ましい。

2. 授業の進め方

講義形式で授業を行う。適宜プリントを配布し、学生の理解をはかる。理解度に応じて、以下の授業計画は、多少変更する可能性がある。

3. 授業計画

1. 財政とは	9. さまざまな種類の財（排除可能性）
2. 国の歳出	10. さまざまな種類の財（消費における競合性）
3. 社会保障の支出	11. 公共財（フリーライダー問題）
4. 国の歳入	12. 公共財（いくつかの重要な公共財）
5. 税の種類	13. 共有資源（共有地の悲劇）
6. 国の歳出と税収の推移	14. 共有資源（いくつかの重要な共有資源）
7. 高齢化と社会保障給付費の見通し	15. 後半のまとめと復習
8. 前半のまとめと復習	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業を受講後、その回の内容を復習する。そのためには、毎週 1, 2 時間程度が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

解答を試験終了後に掲示する。

6. 授業における学修の到達目標

財政についての基本的な知識を習得する。

7. 成績評価の方法・基準

期末試験（100%）により評価する。

8. テキスト・参考文献

参考書として、N・グレゴリー・マンキュー著『マンキュー経済学 I ミクロ編（第4版）』（東洋経済新報社、2019 年）を使用する。

9. 受講上の留意事項

私語を厳禁とする。守れない学生に対しては、直接注意を行い、改善が見られない場合には退出を求める。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。